

【中小企業における HACCP の現状と支援法について】

ご存知の通り、食品衛生法が改正されたことにより、原則として 2021 年 6 月までに『全ての食品事業者』に HACCP 導入が義務付けられました。

大手企業の食品工場では HACCP の導入を完了している場合も少なくありませんが、中小企業における HACCP 導入はまだまだ伸び悩んでいると言われています。

事業別に見た HACCP 導入状況

◆販売規模 100 億円以上の企業

- ・ 導入済 : 89.9%
- ・ 導入途中 : 8.1%
- ・ 導入検討 : 2.0%

◆販売規模 10 億円～50 億円の企業

- ・ 導入済 : 57.7%
- ・ 導入途中 : 17.0%
- ・ 導入検討 : 17.4%

◆販売規模 5,000 万円未満の企業

- ・ 導入済 : 11.4%
- ・ 導入途中 : 2.0%
- ・ 導入検討 : 9.9%

参考 : 農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/haccp/attach/pdf/h_toukei-2.pdf??

上記のように、HACCP 導入に関しては事業規模が大きいほど導入が進んでいることが分かります。しかし、HACCP は『すべての食品事業者』に義務付けられている以上、2021 年 6 月に向けて早急に動き出さなければいけません。

ではなぜ取り組めていないのか？

◆中小企業で HACCP 導入が伸び悩む理由

- ・施設や設備の整備に係る資金がネック：78.1%
- ・コンサルタントや認証手数料などのコスト：60.7%
- ・導入後にかかるモニタリングや記録管理コスト：46.4%
- ・従業員に研修を受けさせる金銭的余裕がない：26.6%
- ・HACCP 導入手続きの金銭以外のコスト：40.6%

参考：農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/haccp/attach/pdf/h_toukei-2.pdf

やはり多くの企業が金銭的なコストを問題視して導入を踏みとどまっていることが分かります。実際に、小規模な飲食店などで HACCP の導入を考えた場合でも、50~100 万円程度の費用が必要になると言われており、さらに、HACCP 認証を更新する場合にも 10~20 万円程度のコストが必要になってしまいます。

こういった導入のネックとなる金銭的負担を軽減し導入の推進を目的として『HACCP 支援法』という法律が制定されています。

<HACCP 導入には「HACCP 支援法」を活用しよう>

HACCP 支援法は、HACCP の導入による食品の製造過程の管理高度化を進めることが目的で、導入に必要な施設・設備の整備に対する金融支援を講ずるものとなっています。

具体的な内容を簡潔にまとめると以下のような支援を受けることが可能です。

対象：食品の製造または加工の事業を行う中小企業者（資本金 3 億円以下または従業員 300 人以下等）

対象事業：建物の整備、衛生管理設備の設置、監視制御システムのための機械・設備の設置

限度額：事業費の 80%以内または 20 億円のいずれか低い額

※食品産業品質管理高度化促進(HACCP)資金の詳細は以下をご確認ください

https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/a_10.html

これは、HACCP 導入の際に、多くの中小企業でネックとなる施設や設備の整備にかかる費用を、日

本政策金融公庫から低金利で融資してもらすることができる制度となっています。

ぜひこの制度の利用を検討してみてくださいはいかがでしょうか。